

活動通しSDGsに貢献 電設協が熊本高森線を清掃



熊本県電設業協会（岩崎裕会長）は5日、熊本市と協定を結ぶ「道路ふれあい美化ボランティア活動」に取り組み、市中心街の熊本高森線でごみ拾いを実施した。

会員企業の社員とその家族ら140人が参加。熊本市役所前を起点に白川の大甲橋までと坪井川の桜町橋までの2ルート（計1.5き）に分かれ、歩道や植樹帯に捨てられ

たごみを約1時間かけて拾い集めた。

作業前の開始式では、安全福祉委員会の宮本潤一委員（タイハイテクノス）が「毎年2回実施している活動は今回で通算26回目となる。活動はSDGsの目標にも通じるもので、持続可能な社会の実現に少しでも貢献できるよう今後も取り組んでいきたい」と委員長メッセージを伝えた。